

## 身近な図書館 国府分館



町には図書館が二館あります。大磯駅近くにあるのが本館で、消防署国府分署2階にあるのが国府分館です。国府分館は平成8年に現在の場所に移転・開館しました。

蔵書数は約2万2千冊と少なく規模も小さいですが、新刊図書を中心に親しみやすい図書を選んで、書架に並べています。また、司書が常駐し本のご相談を受け付けています。ぜひお気軽に国府分館をご利用ください。

### 貸出・返却

利用券は本館・分館共通で利用可能です。利用券を作る時にはご本人確認書類が必要になります。詳細は図書館ホームページをご確認ください。分館で貸し出した資料を本館で返却することもできます。

### 予約

館内の端末・カウンターやインターネットから蔵書を予約できます。本館の図書、雑誌やCDを分館に取り寄せ貸出することも可能です。



### おはなし会

図書館本館と同様に「おはなしと紙芝居」「3歳までのおはなし会」を行っています。

日程はチラシ、広報、図書館ホームページをご確認ください。おはなし会の様子



## 第22回

# 大磯図書館まつり

▶とき 11月12日(日)10時~15時  
▶ところ 図書館本館  
※各催しの定員・提供数は、当日先着順となります。

### 古本市(2階大会議室)

▶参加方法 当日9時から図書館1階玄関前にて整理券を配布します。記載された入室予定時刻に会場にお越しください。

### キッズ古本市(1階玄関前)

▶参加方法 直接会場にお越しください。

▶とき 10時~15時

▶内容 皆さんから寄贈された本、図書館の除籍本をご自由に持ち帰りできます。

▶その他 本を持ち帰る袋を持参してください。

※転売など営利を目的とする人の入場はお断りします。



古本市の様子(昨年)

### 図書館クイズ(受付:2階小会議室)

▶とき 10時~15時  
▶内容 館内をぐるりと探検しながら、図書館にまつわるクイズに挑戦。小さなお子様から参加できます。

### スペシャルおはなし会(1階おはなしのへや)

▶とき ①10時30分~11時 ②11時10分~11時40分  
▶定員 各回15人  
▶内容 おはなし、絵本、紙芝居等。小さなお子様から参加できます。



### 協力金のお願い

大磯図書館まつり実行委員会では、皆さんからいただいた協力金で、児童書を購入して、図書館に寄贈しています。ご協力をお願いします。



### 工作教室・しおり作り(1階児童書コーナー)

▶とき 11時~正午  
▶内容 キラキラ透ける素材や古切手などの廃材を利用して、自分好みのしおりを作ります。

### 工作教室・豆本作り(1階児童書コーナー)

▶とき 13時~14時  
▶内容 1枚の紙から豆本を作ります。



参考作品

### 書庫見学(地下1階書庫)

▶とき ①11時30分~11時50分 ②13時30分~13時50分  
▶参加方法 各回開始10分前に図書館1階玄関にて整理券を配布します。  
▶定員 各回5人  
▶内容 普段は入ることのできない図書館の書庫をご案内します。

## 図書館75年の歩み

- 昭和23年 町立図書館が旧大磯町役場の一室に設立
- 昭和29年 現在の場所に町立図書館本館が開館
- 昭和30年 町民に図書の館外貸出を開始
- 昭和36年 月京児童館図書室に県立図書館自動車文庫開設
- 昭和44年 吉田茂氏蔵書1,888冊を吉田健一氏から寄贈(吉田文庫として保管)
- 昭和51年 坂西志保氏蔵書5,868冊を遺族から寄贈(坂西文庫として保管)
- 昭和54年 町役場国府支所2階に国府分館が開館
- 昭和55年 「おはなしと紙芝居」を本館・分館共に開始
- 昭和58年 3月に現在の図書館本館が完成し、8月に一般貸出開始
- 昭和59年 自動車文庫「かんがる一号」の運行開始(〜平成9年)
- 昭和60年 学級招待開始(小学校4年生対象) ①
- 昭和63年 幼稚園見学開始(年長児対象) ②
- 平成元年 大岡昇平氏蔵書421冊を遺族から寄贈(大岡文庫として保管)
- 平成3年 まちの資料室・いそちゃんひろば等改修工事 ③
- 平成4年 現在の図書館本館の開館から100万冊目の貸出を達成  
近隣3市1町と公共図書館広域利用を開始
- 平成8年 消防署国府分署2階に国府分館が移転、開館
- 平成14年 第1回「図書館まつり」開催
- 令和元年 図書館公式X(旧Twitter)開設
- 令和4年 大磯町電子図書館開設 ④

「町の中の大きな家」「住宅地の中にある優しさを持った建物」という考えで、図書館本館は現在の形になりました。

今年で開館75年を迎え、町の中にある大きな家は、すっかり町並みに馴染むようになりました。



昭和57年 旧大磯町立図書館外観



現在の外観

## 図書館ってどんなところ?

図書を借りる、資料を調べるだけでなく、行事に集う、ボランティア活動に参加するなど、住民に開かれた図書館としてサービスを行ってまいりました。

町には図書館本館と国府分館があり、月替わりの展示や催し物、おはなし会なども開催しています。



ぼくは図書館のマスコットキャラクター・いそちゃんだよ!小学4年生で、虫取りが得意だよ。

図書館公式X(旧Twitter) いそちゃん(大磯町立図書館) [https://x.com/oiso\\_library](https://x.com/oiso_library)



### ①小学校の学級招待

昭和60年から始まった学級招待は、町立小学校の4年生に「図書館の使い方・本の探し方・催し物を楽しむ」の3つを伝えるため、図書館で実施しています。普段は入れない屋根裏部屋や地下書庫に興味津々です!



### ②幼稚園の図書館見学

昭和63年から図書館の簡単な使い方や映画会、おはなし会を体験して、図書館に親しみを持ってもらうため、図書館見学を実施しています。現在、町内の保育所、認定こども園も加えた年長組が対象となっています。最後の自由貸出の時間では、カバンいっぱいの本を借りていく園児の姿も見受けられます。



### ③まちの資料室

平成3年に大規模な改修工事を行い、本館2階に「まちの資料室」が設立されました。大磯町及び周辺地域の歴史、地理、文化、自然など各分野の出版物と、自治体の刊行物、参考資料(辞書・事典)等を揃えています。

特別収書として、吉田文庫(元首相・吉田茂氏)、坂西文庫(社会評論家・坂西志保氏)、大岡文庫(小説家・大岡昇平氏)の一部を実際に手に取って読むことができます。

また、図書館ホームページの「大磯町郷土資料」にて「大磯ふるさと往還」を掲載しています。これは大磯町に関する資料を、テーマ別にあらすじ等をまとめたリストで、現在8つのテーマを公開しています。地域の研究や調べ学習にぜひご利用ください。

### ④電子図書館

令和4年から、開館時間に関係なくインターネットに接続されたパソコンやスマートフォンで電子書籍の利用が可能となるサービス「電子図書館」を開設しています。

現在、様々なジャンルの電子書籍を約1,000タイトル取り揃えています。

